

新成人の皆さま、おめでとうございます。

2020年は約122万人の方が成人を迎えられたということですが、前年比マイナス3万人と
のことです。

2022年春に施行される改正民法によって、成人が20歳から18歳に引き下げられます。こ
こで話題になっているのが、成人式の対象年齢をどうするか？という点で、成人式発祥と
言われている埼玉県蕨市は、改正民法施行後も従来どおり20歳を対象に成人式を行うとの
ことです。そして、多くの自治体が年内に方針を決定する予定です。

18歳で成人式を行う方針に決定した場合は、参加者が受験勉強や就職活動などの忙しい
時期に重なることや、施行する年には18歳から20歳の成人式を行う必要があり、収容でき
る会場がないなどの問題も考えられます。

成人が18歳になっても、お酒やたばこ、公営競技は20歳からなのでご注意ください！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第411号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・第389回技術サロンを令和2年2月13日（木）に開催します！
- ・第68回新技術現場研修会を令和2年2月18日（火）に開催します！

■機構の動き

- ・今週はありません。

■Tea Break

- ・150段のトレーニング（技術評価部 MAさんからの投稿です）

■ピックアップ！機構情報

- ・第384回技術サロン
（「下水道施設計画・設計指針と解説」の改定と下水汚泥由来肥料の利用促進）

■はしわたし

- ・横浜市環境創造局からの情報提供です。
中大口径管の包括的民間委託の導入に向け、「第二回サウンディング型市場調査」を実施
します！
～事前説明会を1月24日に開催！～

■国からの情報

- ・1/10付下水道ホットインフォメーション

。○。

●第 389 回技術サロンを開催します！

日 時：令和 2 年 2 月 13 日(木) 16:00~17:00

場 所：機構 8 階 中会議室

講演者：電気通信大学情報理工学研究科 教授 新 誠一氏

テーマ：AI・IoT 化と下水道

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon389>

●第 68 回新技術現場研修会を開催します！

日 時：令和 2 年 2 月 18 日(火) 13:00~16:30 予定

場 所：川崎市川崎区

概 要：最新の情報機器を採用した下水道広報施設と市街地におけるポンプ場再構築現場の視察

※詳細・ご案内はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/workshop68>

機構の行事予定

。○。

●今週はありません。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●150 段のトレーニング (技術評価部 MA さんからの投稿です)

最近、身体を動かす運動・スポーツには疎遠に近い。30 歳代前半くらいまでは、スキー、テニス、軟式野球、少々のゴルフ、強歩大会参加等々スポーツに親しんでいた。今は、見る影もなく(心身ともに)、e スポーツならぬ、ミルスポーツとでも言おうかテレビ観戦スポーツに親しんでいる昨今である。

言い訳をいわせてもらえれば、ラグビーワールドカップ 2019 は、幾試合も自宅などでのテレビ観戦やパブリックビューイングで応援をしたが、かつて松尾 雄治だの、平尾 誠二、大八木 淳史などラグビー界のレジェンドらが盛り上げていたものの、あらためて、ものすごくおもしろいスポーツだと感動し、日本中を熱狂させ、世界の多くの人々を熱くした。

まさに、スポーツは実行するものではなく見るものだと立証してくれたようなものではないだろうか。いやいや、そうは言うものの、体を動かすことも健康の維持から大切なことであるとも思う。

小生、毎日の通勤ルートには駅構内の上り階段が数多くある。勢いよく上がっていくことが可能な階段数では、往復路に計 150 段ほどある。このうち通勤時間の混雑状態にもよるが、タイミングがよければいきなり 50 段を駆け上がられて息が苦しい。

これを自称トレーニングと呼ぼうと思う。

。○。

ピックアップ！機構情報

(下水道機構情報 PLUS+ Vol. 9 No. 17 2019. 10 の中から記事をご紹介します)

。 。 ○。

・第 384 回技術サロン

(「下水道施設計画・設計指針と解説」の改定と下水汚泥由来肥料の利用促進

(公社) 日本下水道協会 技術研究部技術指針課 係長 本田 康人氏

主査 阿部 善成氏)

■「下水道施設計画・設計指針と解説—2019 年版—」の改定ポイント

「下水道施設計画・設計指針と解説」は、平成 26 年度から準備会を立ち上げ、部門別的小委員会や専門委員会、技術委員会の審議を経て、このたび 10 年振りに改定版を発刊することとなりました。

今回の改定では、維持管理を起点とした新たなマネジメントサイクルの構築に資することを目的としました。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2020-01-15-quarterly1>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 17 号 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter17>

下水道機構情報 Vol. 14 No. 29 2019. 7 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly29>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 28 2019. 1 はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly28>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 27 2018. 7 はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly27>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。 。 ○。

はしわたし (みなさまの情報交流の場です)

。 。 ○。

●中大口径管の包括的民間委託の導入に向け、「第二回サウンディング型市場調査」を実施します！(神奈川県横浜市環境創造局)

横浜市の下水道管路施設は、今後急速な老朽化の進行が見込まれており、予防保全中心の維持管理を実施しているところです。内径 800mm 以上の『中大口径管』については、維持管理をより迅速かつ適切に実施しストックマネジメントを推進するため、公民連携の一手法である包括的民間委託の導入について検討しています。

導入の検討にあたり、事業化に向けた基礎調査として、民間企業の皆さまの参入意向や事業内容等に対する考えを把握するため、第一回サウンディング型市場調査(以下、サウンディング調査)を実施しました。

この度、第一回サウンディング調査の結果を踏まえ、民間企業の皆さまとの「対話」を通じて、アイデアや意見等を調査する第二回サウンディング調査を実施することとし、事前説明会を 1 月 24 日(金)に開催します。

◇申込期限 令和 2 年 1 月 20 日(月) 17 時まで

★詳細・申込はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi2020-01-15>

(横浜市環境創造局のサウンディング型市場調査のページにジャンプします)

ぜひご参加ください。

＼(^-^)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。oO。

国からの情報

。oO。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2020.1.10 の情報です)

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

あけましておめでとうございます。今年も下水道のホットな情報をお届けしたいと思
いますので、引き続きご愛読いただければ幸いです。

さて、新年から夢のある話なのですが、平成 27 年度の下水道革新的技術実証事業
(B-DASH) により、佐賀市で下水汚泥バイオガスを活用した微細藻類培養等の実証を行
いますが、このたび、佐賀市において、その藻類を活用したバイオジェット燃料による
国内初の商業フライト (佐賀←→羽田) を年内に行うべく準備を進めていくとのこと
です。

夢が実現するよう、期待したいと思います。

◆ ユーグレナ、年内にバイオ燃料での商業飛行目指す <佐賀新聞 1/8>

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/474265>

◆ B-DASH 実証技術の概要：

http://www.nilim.go.jp/lab/ecg/bdash/doc/outline/h27_toshiba.pdf

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○ 下水道への紙オムツ受入実現に向けた連絡会議 (Deasy Conference Vol. 2) への
参加者を募集します (国土交通省)

○ 下水道政策研究委員会 第 1 回 制度小委員会を開催 (国土交通省、日本下水道協会)

○ 2021 年第 7 回 JSWA/EWA/WEF 特別会議の開催について (日本下水道協会)

○ 第 39 回「下水道循環のみち研究会」((一社) 日本下水道施設業協会)

○ 研究集会テーマ「膜分離活性汚泥法 (MBR) のこれまでとこれから」を考える
(NPO 21 世紀水倶楽部)

- 奇跡の一枚 「クマムシの食事映像」
(下水道広報プラットフォーム (GKP)、21世紀水倶楽部)
- 「下水道アドバイザー」を募集しています ((一財)下水道事業支援センター)

-
-
- 下水道への紙オムツ受入実現に向けた連絡会議 (Deasy Conference Vol.2) への参加者を募集します (国土交通省)

国土交通省では、全ての人々が、その人らしく快適で、環境に配慮した暮らし方ができるために、「オムツ (Diaper) をより容易 (easy) に扱える」というビジョンのもとで「Deasy プロジェクト」を進めています。

Deasy プロジェクトでは、国や民間企業による検討動向等を共有し、オープンイノベーションによる参加者間の議論を行う場として「Deasy Conference Vol.2」を開催します。

1. 日時：令和2年2月4日 (火) 13:00~18:00
 2. 場所：100BANCH (渋谷区渋谷 3-27-1 JR 渋谷駅新南口から徒歩2分)
 3. 主催：Deasy 実行委員会、国土交通省 (協力：株式会社ロフトワーク)
- ※参加申込は下記 URL から！！
⇒ https://loftwork.com/jp/event/20200204_deasy/report

(報道発表資料)

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000437.html

- 下水道政策研究委員会 第1回 制度小委員会を開催 (国土交通省、日本下水道協会)

新下水道ビジョン (平成26年7月) の実現に向けた各施策の推進にあたり、法令等の制度

に関する課題及び対応方策について検討し、同ビジョンの更なる加速を図るため、下水道政策研究委員会 制度小委員会 (委員長：花木啓祐 東洋大学情報連携学部教授) を設置し、昨年12月27日に第1回を開催しました。

今後、下水道事業の持続性の確保、浸水対策の強化、その他の事項について検討する予定であり、第2回は2月21日に開催します。

(資料)

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000661.html

- 2021年第7回 JSWA/EWA/WEF 特別会議の開催について (日本下水道協会)

本会議は日本下水道協会 (JSWA) の主導により、日本及び欧米 (EWA (ヨーロッパ水協会))、

WEF (米国水環境連盟) の下水道関係者が、技術的・行政的課題とその解決について情報交換し、各国の持続可能な下水道システムの構築に役立てることを目的として2001年から始まった国際会議です。

今回は、「レジリエンス」をテーマに、日本で開催することを2018年の第6回会議 (ドイツ開催) で決定しました。

そこで、2021年は東日本大震災から10年目の節目ですので、仙台市のご協力を得て、仙台市で開催することといたしました。

- ・会議日程： 2021年12月7日（火）～10日（金）
- ・募集関係：論文要旨受付開始：2020年9月1日、締め切り：2021年3月8日

なお、本会議では、レジリアンスに影響を与える外的要因は自然災害、気候変動だけでなく、施設老朽化、人口減少等社会経済的要因を含むと解釈しています。

詳細は、今後日本下水道協会のメールマガジンや下水道協会誌等でご紹介致しますので、ご応募をご検討下さい。

○ 第39回「下水道循環のみち研究会」（（一社）日本下水道施設業協会）

（一社）日本下水道施設業協会では、第38回「下水道循環のみち研究会」セミナーを下記の通り開催します。

今回の研究会は、令和元年7月から国土交通省で下水道事業課長として、下水道予算、事業執行、災害対応などに活躍されている松原誠課長をお招きして、循環のみち下水道の令和2年度予算、新たな政策研究会など最近の話題を災害対応も含めてお話し頂き、意見交換致します。

- ・日時：令和2年2月5日（水） 午後15時30分～18時00分
（意見交換1時間程度を含む）
- ・場所：（一社）日本下水道施設業協会 大会議室
東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館2F（電話03-3552-0991）
- ・タイトル：「循環のみち下水道の予算と施策」（仮題）
- ・講師：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課長 松原 誠 氏

参加ご希望の方は1月27日（月）までに下記URLよりお申し込みください。
積極的な参加をお待ちしております。

URL：<https://wss3.5star.jp/survey/login/kthb49qs>

○ 研究会テーマ「膜分離活性汚泥法（MBR）のこれまでとこれから」を考える （NPO21世紀水倶楽部）

・開催趣旨

2005年に兵庫県福崎町において、膜分離活性汚泥法（MBR）が初めて下水道に導入されてから約15年が経過し、現在、20を超えるMBRが稼働しています。MBRの導入当初、懸念されていた膜ファウリングや膜の耐用年数、汚泥処理等の課題について

も、これらのMBR施設の運転を通して維持管理・保全に関する経験が蓄積されてきており、数多くの知見が得られてきています。

その一方で、次々と大規模MBRの建設が進んでいる海外の状況と比較した場合、我が国でのMBR普及はスピード感に欠けることは否めません。

本研究集会では、我が国の下水道におけるMBRの現状を把握するとともに、今後のMBRに期待される役割や普及のための課題について考えます。

- ・開催日時：2020年2月19日（水）13:30～17:10
- ・会場：「けんぼプラザ」集会室 東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-37-9
- ・プログラム
 - (1) 「我が国の下水道における MBRの歩みと今後の展望」
地方共同法人日本下水道事業団 技術戦略部技術開発企画課課長代理 糸川浩紀氏
 - (2) 「堺市における泉北水再生センターの運転状況」

堺市上下水道局下水道部水質管理課水質管理係副主査 村上卓也氏

(3) 「平膜 MBR の概要と設計・運転管理について」

株式会社クボタ 環境プラント技術部上下水大阪技術グループ長 永江信也氏

(4) 「中空糸膜を用いた MBR の事例紹介」

三菱ケミカル株式会社 分離・アクアケミカル事業部技術グループマネージャー 小林真澄氏

(5) 質疑応答・総合討論

コーディネーター NP021 世紀水倶楽部 理事 村上孝雄

NP021 世紀水倶楽部HP <http://www.21water.jp/21index.htm>

開催案内HP <http://www.21water.jp/J200219.pdf>

○ 奇跡の一枚 「クマムシの食事映像」

(下水道広報プラットフォーム (GKP)、21世紀水倶楽部)

奇跡の一枚では活性汚泥微生物の珍しい画像や映像を募集しています。このたび東京都下水道サービス(株)から映像の応募がありました。クマムシがアキネタと思われる吸管虫に菌針を差し込み細胞液を吸っているものです。クマムシのこのような行動は知られてはいましたが、水質関係者でも見たことのある人は殆どいないと思われる貴重な映像です。

動画では、吸管虫の細胞液が菌針を通して、クマムシの体内に流れ込む様子が映されています。クマムシは足を激しく動かすなど普段と違い活発に動いていて、肉食生物の様子を見せています。吸管虫は細胞液を吸われて次第にしぼんでいきます。

奇跡の一枚では切り出した静止画と映像の一部を載せています。

奇跡の一枚は常時募集していて、メールによる手続きなので簡単に応募でき、いろいろな画像、映像を送っていただくようお願いします。

- ・画像・映像名： クマムシのストローを使った食事風景
- ・微生物がいた場所： 東京都内水再生センターの反応槽
- ・撮影者： 東京都下水道サービス株式会社 児玉 弓枝

奇跡の一枚HP <http://www.21water.jp/kassei/>

捕食のページ <http://www.21water.jp/kassei/hp/hoshoku/hoshoku1.html>

問い合わせ先 NP021 世紀水倶楽部

吸管虫は単細胞の原生動物で多数の細い管を持ち、これを他の微生物に突き刺して体液を吸う。

○ 「下水道アドバイザー」を募集しています ((一財)下水道事業支援センター)

「下水道アドバイザー制度」は、下水道事業の円滑な実施と良質な社会資本の整備に寄与することを目的として、下水道管理者等が下水道アドバイザー(国土交通省、日本下水道事業団、地方公共団体等で下水道事業を豊富に経験し、退職された方)のアドバイスを気軽に受けられる制度です。

下水道担当者の各種研修会や排水設備責任技術者講習会の講師等にご利用いただいております。

アドバイザー機関である(一財)下水道事業支援センターでは、令和2年度以降「下水道アドバイザー」として新規登録を希望される方を募集しております。

下記ホームページをご参照いただき、奮ってご応募ください。

豊富なご経験を生かして技術・知見の伝承にご活躍いただける方のご応募を、

心よりお待ちしております。

- ・募集締切：令和2年2月14日（金）
- ・ホームページ（下水道事業支援センター）
<http://www.sbmc.or.jp/11adviserHP/index.html>
- ・ご応募・お問い合わせ先
（一財）下水道事業支援センター事業部 遠田（えんだ）
TEL. 03-6803-2684 E-mail: enda@sbmc.or.jp <<mailto:enda@sbmc.or.jp>>

【参考情報】

- ◆ 児童デザイン 池田市公募のマンホールふた <1/1 大阪日日新聞>
<https://www.nnn.co.jp/dainichi/news/200101/20200101035.html>
- ◆ メニューは「宇都宮の水道水」 宇都宮市が上下水道イメージアップ映像制作
<下野新聞 1/3>
<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/262239>
- ◆ 宇都宮市、早ければ21年に地域新電力会社を設立 家庭用太陽光の買取も視野
<1/9 環境ビジネスオンライン>
<https://www.kankyo-business.jp/news/023856.php>
- ◆ 下水エネでぽかぽか バナナたわわ 旭川市処理センター <1/7 北海道新聞>
<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/380831>
- ◆ 台風19号 内水氾濫把握へ写真求ム 東北大が呼びかけ <毎日新聞 1/10>
<https://mainichi.jp/articles/20200110/dde/007/040/039000c>
- ◆ 水害対策と街づくり、連携強化 国交省が指針整備へ <1/8 日本経済新聞>
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ054170190Y0A100C2EE8000/>
- ◆ 1月27日（月）に「第3回 早稲田大学総合研究機構 水循環システム研究所
シンポジウム『改正水道法後の官民連携の推進』—人口減少社会のPPP/PFIと
災害対応—」を開催します。<早稲田大学 産業経営研究所ウェブサイト 12/20 掲載>
<https://www.waseda.jp/fcom/riba/news/1108>
- ◆ 上下水道料金納付、自宅でも 宮城・白石市でスマホ決済開始
<Yahoo!ニュース 1/10>
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200109-00000018-khks-pol>
- ◆ 今治市、下水道使用料9%引き上げへ <47NEWS 1/6>
https://www.ehime-np.co.jp/article/news202001070031?utm_medium=social&utm_content=%2Farticle%2Fnews202001070031
- ◆ 「東和地域版」を配布 マンホールカード アヤメ／あやめちゃんデザイン
花巻市、全4種そろふ <1/2 岩手日日新聞社>
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200102-00010000-iwanichi-103>
- ◆ 「#下水道すた」でマンホール写真投稿して 赤レンガや城あしらったデザイン、
京都・舞鶴 <47NEWS 1/5>

<https://this.kijji.is/586537540668638305?c=39546741839462401>

◆ マンホールカード「オコジョ」登場 <岐阜新聞 1/10>
<https://www.gifu-np.co.jp/news/20200110/20200110-205555.html>

◆ 昨年は行列、即品切れ 合格祈願マンホールカード <岐阜新聞 1/6>
<https://www.gifu-np.co.jp/news/20200107/20200107-204582.html>

◆ 上下水道局庁舎駐車場、閉庁後に貸し出し 静岡市方針
<@S [アットエス] by 静岡新聞 12/30>
<https://www.at-s.com/news/article/politics/shizuoka/721862.html>

◆ 水道水をタンブラーで 静岡市若手職員が企画、11日に配布
<@S [アットエス] by 静岡新聞 1/10>
<https://www.at-s.com/news/article/local/central/724458.html>

◆ RCEP 早期署名へ協力 日ベトナム外相会談 <1/6 日経新聞>
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ054071860W0A100C2PP8000/>

※ 海外ニュース（協力：日本下水道協会）

◇ 米国環境省高官がチェサピーク湾の汚濁削減目標達成は非現実的と発言し、
関係者が混乱

<1/3 The Baltimore Sun> (英文)

<https://www.baltimoresun.com/news/environment/ac-cn-bay-comission-0104-20200103-o5nun6uojbapjec15dak7p62wa-story.html>

◇ トイレに流せる製品問題の現状 <12/25 Grist> (英文)

<https://grist.org/article/those-flushable-bathroom-wipes-may-not-be-so-flushable-after-all/>

◇ 米国で MBR が故障して汚水流出事故発生 <12/26 現地メディア> (英文)

<https://www.milfordbeacon.com/article/20191226/NEWS/312269996>

<https://www.delawarepublic.org/post/lewes-wastewater-treatment-plant-malfunction-resolved>

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511 (代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>
